



新潟市立江南小学校

令和7年9月4日

COMPASS

考える部便り No.14



ご感想・研修へのご意見
お待ちしております。←

授業と家庭学習がつながっていますか

YouTube「新潟市 GIGA チャンネル」の「令和6年度 新潟市の目指す授業づくり」を基に、授業づくりの要件について下記のようにまとめました。

授業づくりの要件

子どもたちが自覚することが大事

課題やめあてを子どもが自覚する

何を学ぶのか

子どもが見通しをもつ

どう学ぶのか

学習環境や活動、教材、支援のもと、個人でまたは仲間と取り組む、追求する

どのように追求・取組を進める

獲得した知識・技能や見方・考え方等を子どもが自覚する

何を学んだか

追求過程や成長、学習の価値を子どもが自覚する

どう学んだか

普段の授業で、5つの要件が実現し、全ての子どもたちが自覚できることが重要です。そのためには、教師が自ら考えた単元デザインに基づいて、子どもたちの学びのゴールを示したり、子どもたちが学びやすい選択肢を用意したりすることが考えられます。教師が個別に支援したり、学びの様子を価値付けたりしながら、子どもたちに寄り添うこともできます。また、教室には、いつでも相談できる仲間がいます。さらに、子どもたちへは学びやすい教室環境も提供もできます。このように、子どもたちが主体的に学べる手立てがたくさん用意でき、環境が整っていることで、「自立した学習者」が育まれると考えます。

では、子どもたち自身が「自立した学習者」になったか確かめられる場はどこでしょうか。私は家庭だと考えます。家に帰って、家庭学習をやろうとすると、ゲームの誘惑があり、それに打ち勝っても、困ったときに相談できる先生や仲間がいないので、途中で挫折するときもあるかもしれません。そのとき、子どもたちは、教室との違いを実感し、自分に必要な力に気付くことができます。そして、5つの要件を自覚する大事さも再認識するかもしれません。「『どう学ぶのか』が弱いから、そこをよくする学び方をみんなに聞いてみよう」と思いながら登校する子がいたら、すてきですね。授業が子どもたちの「基地」になり、そこから行ったり来たりしながら、自立した学習者を目指したいです。

